

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「題材を貫く問い」を立てて、題材計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第2学年

技術・家庭（家庭分野）

題材名 わたしたちの消費生活と環境  
～我が家のエコライフ計画～

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

持続可能な社会の構築に向けた消費生活とは、どのようなものだろうか

② 題材を貫く問い（題材を通して考え深めていく「問い」）

自立した消費者としての責任ある消費行動とは、どのようなものだろうか

③ 個別の問い（題材を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 自分や家族の消費行動にはどんな問題があるだろう
- ・ 商品選択と購入において、どのようなことを検討する必要があるだろう
- ・ モデル家族が上手に金銭管理ができるように、どんなことをアドバイスすべきだろう
- ・ 消費者被害の現状を踏まえ、私たちはどのような行動をとる必要があるだろう

題材計画の  
構想を立てる

- 1 自分や家族の消費生活について問題を見だし、課題を設定する。
- 2 課題を交流し、その解決のために学習すべき内容を検討し、グルーピングする。
- 3 課題に基づき、「我が家のエコライフ計画」を立てる。
- 4 課題解決に向けた学習を行う。  
（購入方法・支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害の背景、消費者被害への対応、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理、消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響等）
- 5 「我が家のエコライフ計画」を交流し、前時までの学習や相互のアドバイスをもとに見直す。  
〈家庭での実践〉
- 6 実践を交流し、活動を評価、改善案を検討する。→今後の自分の生活の課題を再設定する。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「題材を貫く問い」を立てて、題材計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第1学年

技術・家庭（技術分野）

題材名「材料と加工の技術によって、安全な生活の実現をめざそう」  
～オーダーメイド家具を開発しよう～

### ① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

すべての人を幸福にする「技術」とは、どうあるべきだろうか。

### ② 題材を貫く問い（題材を通して考え深めていく「問い」）

より安全な生活をするためには、材料と加工の技術はどうあるべきだろうか。

### ③ 個別の問い（題材を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- a 身の回りの製品や技術は、私たちの生活を、どのようにして安全にしてくれているのだろうか。
- a 身近な椅子や家具は、どのような意図で開発されたのだろうか。  
→技術に込められた問題解決の工夫を考え、技術の見方・考え方に気付く。
- b 消費者の実状と理想の姿（願いや思い、ニーズ）はどのようなものだろうか。  
→現実と理想のギャップから問題を見いだす。
- c どのような材料取り、部品加工、組立て・接合、仕上げや検査が必要だろうか。
- c 安全に作業するためには、工具・機器に関するどのような点検・調整や使用後の手入れが必要だろうか。
- d 完成した製作品を消費者のニーズや社会からの要求、安全性、経済性などの側面からどのような改善や修正ができるだろうか。
- e 安全な生活の実現に向けて、材料と加工の技術をどう変えるべきだろうか。  
→将来展望について意思決定し、提言する。

※「個別の問い」と「題材計画の構想」の記号は、対応している。

## 題材計画の 構想を立てる

- a 既存の技術の理解することで、技術の見方・考え方に気付き、あるべきもの（姿）を探求する。
- b あるべきもの（姿）と現実とのギャップから、問題を見いだして課題を設定する。
- c 課題の解決に向けて、解決策を構想、具体化し、解決活動を行う。
- d 解決過程や結果を評価し、改善・修正する。
- e これまでの過程を振り返り、あるべきもの（姿）についてまとめる。

※題材計画については、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校技術・家庭を参考に作成。